

建設業の生産性向上と  
働き方改革を推進

国土交通省九州地方整備局長 村山 一弥



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
九州は、地形、気象などの自然条件から災害が発生しやすい

く、2016年の熊本地震、17年の九州北部豪雨、18年の西日本豪雨、19年の佐賀県を中心とした豪雨災害と毎年のように大規模災害に見舞われており、さらに、18年度から桜島や阿蘇山をはじめとする管内の活火山の活動も活発な状況です。

九州地方整備局では、これらの災害の復旧・復興に全力で取り組んでいます。  
19年8月の豪雨により甚大な被害が発生した佐賀県の六角川においては、治水対策だけではなく関係機関が連携し、住まいの工夫やクリークの活用など流域一帯となった浸水対策を「六角川水系緊急治水対策プロジェクト」としてとりまとめ、再度の災害防止に向け、国、県、市町が連携し取り組んでいくこととしています。

九州は日本の西端に位置し、首都東京から西へ約900キロ離れていますが、中国の上海からも1000キロ圏内にあり東アジアのゲートウェイとなっています。  
東アジアからのインバウンドを中心に、日本全体に來航するクルーズ船の約3割が九州に寄ります。

地域への担い手・守り手としての役割を担う建設業の生産性向上と働き方改革の推進に取り組んでいます。生産性向上については、3次元データの活用をはじめとするi-Constructionの取り組みを順次拡大しているところです。また、週休二日モデル工事の拡大や、施工時期の平準化等により、働き方改革を推進しています。19年6月に成立した新・担い手3法の理念を踏まえ、建設産業が、新3K（給与が良い、休日が取れる、希望が持てる）の業界となるよう、九州各県および市町村と連携し取り組みを進めていきます。

本年が皆様にとりまして、実り多い年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 安全・安心な地域を目指して

武雄河川事務所長 藤本 幸司



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しいお正月をお過ごしのことと存じます。

平成から令和へ新しい時代の幕開けの年でしたが、自然災害が猛威を振るった年でもありました。8月の佐賀平野での記録

的な大雨による災害、その後の台風19号による東日本の広範囲で大きな災害が発生しました。

武雄河川事務所が管理する嘉瀬川、六角川、松浦川水系においては、3水系5河川で氾濫危険水位を超過し、2河川では堤防から越水しました。平成30年から2年連続して、国の管理区間からの越水となりました。今回の災害においても、地域を支える建設業の皆様のおかげをもちまして、迅速に災害対応にあたることが出来ました。大変感謝しております。

嘉瀬川水系では、川上水位観測所で避難判断水位（レベル3相当）を超えましたが、濁水傾向で嘉瀬川ダムの貯留量が少なかつたこともあり、多くの河川水をダムに貯めることができ、洪水のピーク水位を約70cm引き下げることが出来ました。また、佐賀導水路の巨勢川調整池には、ほぼ満水の約209万m<sup>3</sup>貯留し、下流のピーク水位を約1・0m引き下げることが出来ました。

六角川水系では、基準地点である六角川潮見橋水観測所、牛津川妙見橋水位観測所で氾濫危険水位（レベル4相当）を超過しました。牛津川では、戦後最大の洪水となった平成2年7月出水を超え、堤防から越水（レベル5相当）しました。六角川

水系全体では、多くの内水被害も発生し、家屋浸水が2936戸、浸水面積が約6900haと約30年ぶりの大規模な災害となりました。

松浦川水系では、松浦川西橋水位観測所、徳須恵川徳須恵橋水位観測所、厳木川中島橋水位観測所で氾濫危険水位（レベル4相当）を超過しました。厳木ダムの効果により、中島橋厳木川）の水位を約60cm下げ、厳木川沿川の浸水被害を軽減しましたが、松浦川では、唐津市の萩ノ尾地区で一時堤防を越水（レベル5相当）するなど被害が発生しました。

現在、各関係機関と連携し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指して、河川における対策、流域における

対策、まちづくり・ソフト対策などの防災・減災の取組を進めています。今回は、事前防災の重要性を改めて思い知らされた洪水でもあり、特に、六角川水系では、流域の市長、町長の皆様とともに、「六角川水系緊急治水対策プロジェクト」として新たに推進する体制を構築しています。これからの防災・減災に向けたハード対策・ソフト対策を計画的に推進してまいります。

最後になりますが、河川事業を通じて、地域の安全・安心と活性化に寄与するため、全職員一丸となって取り組んで参ります。本年が皆様にとりまして、良い一年となることを祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。



企業理念 常在 お客様貢献

## 松尾建設株式会社

代表取締役会長 山田 裕久  
代表取締役社長 松尾 哲吾本店 佐賀市多布施一丁目4番27号 ☎0952-24-1181  
支店 仙台・東京・名古屋・大阪・広島・山口・北九州・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄  
URL http://www.matsuo.gr.jp

循環型社会を推進する

## 株式会社 西村土木建設

代表取締役 西村 秀樹

【本社】佐賀市川副町大字南里1489-1 TEL0952-20-3135 FAX0952-45-3548  
【リサイクル事業部】佐賀市川副町南里1493 TEL0952-45-3250 FAX0952-45-3261  
【運輸事業部】佐賀市諸富町大字山領332-1 TEL0952-47-3135 FAX0952-47-5398

想いをつなぎ 夢ある未来へ

## 黒木建設株式会社

KUROKI Construction Co., Ltd.



代表取締役社長 黒木 祐一郎

本社 佐賀県伊万里市松島町100-1  
TEL(0955)22-7111 http://www.kurokinet.co.jp/  
支店 嬉野支店・福岡支店

## 株式会社 山崎建設

代表取締役 山崎 虎次

〒843-0013 佐賀県武雄市橋町大字大日8292 TEL 0954-23-3629 FAX 0954-22-3441

世紀を越えてふるさと造りのお手伝い。  
創業明治26年

## 森永建設株式会社

代表取締役社長 森永 浩通

本社 佐賀県佐賀市久保田町大字徳万48-1 TEL.0952-68-2155 FAX.0952-68-4527  
[E-mail] info@morinaga-1893.co.jp

## 五光建設株式会社

代表取締役社長 小野 寺 法雄

本社 843-0023 佐賀県武雄市武雄町大字昭和335番地 ☎0954-23-5121  
福岡営業所 810-0074 福岡県福岡市中央区大手門3-4-20 ☎092-724-5825